

## 令和3年5月定例教育委員会

- 開催日時 令和3年5月24日(月) 10時00分～11時15分
- 開催場所 教育委員室(県庁22階)
- 出席委員等  
教育長 小泉 元伸  
教育長職務代理者 中田 俊之  
委員 内藤 學  
委員 川上 美智子  
委員 市原 健一  
委員 庄司 一子  
委員 中庭 陽子

※ 事務局出席者については、別紙のとおり

- 議案
- 1 議案  
公開 第3号議案 令和4年度使用県立高等学校及び県立中等教育学校(後期課程)教科用図書の採択方針について (高校教育課)
- 非公開 第4号議案 教職員の人事について (高校教育課・総務課)
- 非公開 第5号議案 茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例案に対する意見について (高校教育課)
- 非公開 第6号議案 教職員の人事について (義務教育課)
- 非公開 第7号議案 茨城県生涯学習審議会委員及び茨城県社会教育委員の解嘱及び委嘱について (生涯学習課)
- 非公開 第8号議案 茨城県スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について (保健体育課)
- 非公開 第9号議案 令和4年度使用県立特別支援学校の小・中学部、県立中学校及び県立中等教育学校(前期課程)の教科用図書の採択方針並びに市町村立教育委員会等が行う教科用図書の採択に関する指導指針について (義務教育課)
- 2 報告  
公開 茨城県立高等学校等入学者選抜採点誤りに関する再発防止・改善策について (高校教育課)

※ 非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会の宣言があり、非公開審議項目についての提案がなされ、各委員から了承されました。

2 議 事

【公 開】

第3号議案 令和4年度使用県立高等学校及び県立中等教育学校（後期課程）教科用図書  
の採択方針について茨城県立高等学校等入学者選抜調査改善委員会について

（高校教育課長） 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

（各委員） 特になし

報告 茨城県立高等学校等入学者選抜採点誤りに関する再発防止・改善策について

（高校教育課長） 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

（市原委員）

大変な努力をして、いろいろな取り組みを今後もやられるわけですが、どうい  
う体制を作っても、それが完璧ということは絶対ありえないと思うんですね。

今後、現場の緊張感を持続させながら、こういう取り組みがしっかり成果を出し続け  
るということがすごく重要なんだと思うんです。

1年間、これからこういう取り組みをしっかりとやられると思うんですが、その後もこ  
ういうことがずっと実践されているか、また、きちんと見直しをするという作業が、今後、求  
められてくると思うんです。

そういう作業を、どこで、どのようにするかということ、ある程度明記しておくことが  
重要なんじゃないかなと思うんですが、いかがですか。

（高校教育課長）

委員のおっしゃるとおり、まず今年度は、令和4年度に向けてしっかりと、ただいま  
説明させていただいたスケジュールで、学校と一緒に共通理解を図りながら進めてい  
く。

さらに、その後については、毎年きちっと検証をした上で、毎年毎年の入学者選  
抜、そこに受験される方のことをしっかりと考えて、改善に努めていきたいと強く考えて  
おります。

（市原委員）

はい。よろしくお願いします。

（中田委員）

再発防止に徹底的に努めていただかなければいけないと思うんですけど、その一  
方で、こういったミスがあって、チェック機能を増やしていくと、また煩雑になって負担  
が増えるというところがあると思うんですね。

そこらへんの先生方に対する、負担軽減というか、配慮っていうのはないのでしょ  
うか。資料②10 ページの入学者選抜日程の採点期間中に、休業って書いてあるの  
は、授業はやらないようにしているのかなとは思ったんですけど、そんな配慮とか何か  
ございますか。

（高校教育課長）

採点日、検証日のところは休業日で学校を休みにし、土日にかかった場合には、  
勤務日の振替で対応ということで進めて参りますが、委員のご指摘のとおり、今まで1  
系統で採点をしておりましたものを、2系統にすることで不安だとか、負担が増える  
のではないかななどの様々なご意見は、すでに多方面からいただいております。

しかしながら、1人でやっていることに対して、2人でやることでのプラスも当然ござい

ますので、その中で、その効率性と確実性っていうのを、我々の方でもしっかりと検証して、テストを繰り返して、学校にきちんと説明をしながら一緒に、今度の入試を乗り切っていくという強い覚悟で臨んで参りたい。

その中では、その負担軽減っていうのは常に念頭に置いて、対応して参りたいと考えております。

(中田委員) ぜひともそのあたり働き方改革とちょっと逆行するところがあると思いますので、チェックしながら進めてください。お願いいたします。

(川上委員) ほぼ同じですけども、やはり入試っていうのは公正を旨とすると、ここが一番基本ですので、今回細部に渡り、最善策を考えていただいて、これでいけるのかなと思います。

(高校教育課長) ただ、先ほどからありますように、やはり年度ごとにちゃんと見直しをして、改善をまたさらに加えていくということを、ぜひやっていただきたいと思っています。

(高校教育課長) しっかり行って参りたいと思います。

(川上委員) あと、やはり日程がきついだらうと思うんですね。

ですから、そのあたりの日程の見直しも、ぜひお願いしたいなと思っています。

(高校教育課長) 日程につきましても、いろんな意見をしっかりと聞きながら、念頭に置いておきたいと思っています。

(中庭委員) 私も同じように、教員の負担ということで、ちょっと懸念するところがあります。

資料②10 ページの選抜日程を見ますと、3月1日の卒業式から、判定会議、そして交付に至るまで、2週間に近い間、教員はかなり緊張を強いられる期間を過ごすように見受けられます。

そのような中で、今までなぜミスが起こったかという原因の一つに、精神的な疲れとか、または、急いでやらなければいけないというような焦りとか、そんなこともあったというようなことが出ておりますので、そういったことをできるだけ防ぐ手だてがやはり必要かなと思います。

そういう中で、この長期に渡る勤務を何かもう少し、何か工夫できないかなっていう気がするんです。休養日というのは、やはりどこかで必要ではないか。そこでリフレッシュして、そして、さらにまた新たな気持ちで、また学力検査の業務に当たる。

そのようなことを含めて、今後考慮していただくと、ミスを本当に防ぐためにいいのかなと思っています。

(高校教育課長) やはり、絶対にミスを犯してはいけません。そのためにはどういうふうにするか。やっぱり環境も大事だと思いますので、ぜひ今後検討をお願いいたします。

(高校教育課長) 採点業務に当たる際に入試の学力検査当日、そして採点、当然ここは緊張感が必要なところですよ。

ただし、当然緊張感が必要だということは、プラス、逆に言うと、しっかりと心のゆとりを持って対応することも必要。

ということで、先ほどから委員の皆様からいただいている働き方改革のことも念頭に置きながら、検討をしていくという強い考えでおります。

今回提示させていただいた日程の中での採点、検証の最大幅が4日間ということではありますが、学校の状況によって、異なってきた部分は当然ありますので、個々の学校の状況をしっかりと考え、相談に乗りながら、前に進めていければと考えております。

(内藤委員) ただし、前に進めるにあたっては、先ほどからご指摘いただいている点を含んだ上で進めて参りたいと思っています。

(内藤委員) 資料②11 ページの答案用紙の誤廃棄について聞きたいんですが、ちゃんと規定しているのに関わらず、今回大量の廃棄があった最大の要因は何だったんですか。

(高校教育課長) 基本的に保存期間が1年間で、その1年間の保存期間っていうのが翌年度の4月1日から3月31日までということなんですけど、翌年度の入試の当日までというような、勘違いといいますか、誤った理解をしていたために、3月31日以前に廃棄してしまったという状況になります。

今後については、入試を進めていくにあたっての留意点を書いた事務処理要領の冊子を、すべての学校に配っているの、その中に保存期間も含めて、しっかりと明記していきたいと考えております。

(内藤委員) 会社でもこういった思い違いってあるんですね。

やはり、お互いにそれを確認し合える環境が一番大事だと思うんです。

改善点1、2、3…とありますけど、やはり1、2っていうのは見えないところですよ。3以降の仕組みは見えるところなんで、やはり一番大事なこの1、2の見えないところをしっかりとシミュレートしていただきたいなと思います。

- ( 庄 司 委 員 ) 大変細かく検討していただき、ありがとうございます。  
組織内のコミュニケーション不足ってことが改善点にあったので、採点、合格発表終了後の校内の反省も含めたコミュニケーション、それから、採点側の学校と教育委員会の関係者もしっかりコミュニケーションをお願いしたいと思います。検証する上で。よろしくをお願いします。
- ( 高 校 教 育 課 長 ) その点についても、第三者委員会の方からも教育委員会と学校、学校と学校、学校の中、それぞれの組織間と組織内のところで、やはりしっかりと共通理解とコミュニケーションをきちんと図っていくべきという強い意見もいただいていますので、そこは改善を図って参りたいと思っております。
- ( 庄 司 委 員 ) よろしくをお願いします。

## 【非公開】

第 4 号議案 教職員の人事について

※ 第 4 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 5 号議案 茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例案に対する意見について

※ 第 5 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 6 号議案 教職員の人事について

※ 第 6 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 7 号議案 茨城県生涯学習審議会委員及び茨城県社会教育委員の解嘱及び委嘱について

※ 第 7 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 8 号議案 茨城県生涯学習審議会委員及び茨城県社会教育委員の解嘱及び委嘱について

※ 第 8 号議案については、原案のとおり可決されました。

第 9 号議案 令和 4 年度使用県立特別支援学校の小・中学部、県立中学校及び県立中等教育学校（前期課程）の教科用図書の採択方針並びに市町村立教育委員会等が行う教科用図書の採択に関する指導指針について

※ 第 9 号議案については、原案のとおり可決されました。

## 3 閉 会

教育長から閉会の宣言がなされました。

(別紙)

令和3年5月定例教育委員会 事務局職員出欠表

令和3年5月24日(月)

職名	氏名	出欠	代理者職氏名
教育改革推進監	森 作 宜 民	○	
総務企画部長	大 谷 美 恵 子	○	
学校教育部長	秋 本 光 徳	○	
総務課長	木 内 規 雄	○	
教育企画監	鹿志村 泉	○	
財務課長	糸 賀 正 美	—	
生涯学習課長	市 村 志 保	○	
福利厚生課長	小田部 修 一	—	
文化課長	田 崎 俊 一	—	
義務教育課長	石 塚 康 英	○	
高校教育課長	柳 橋 常 喜	○	
特別支援教育課長	内 桶 博 仁	—	
保健体育課長	秋 山 克 巳	○	

※新型コロナウイルス感染症予防のため、事務局職員は議案等関係課長のみ出席